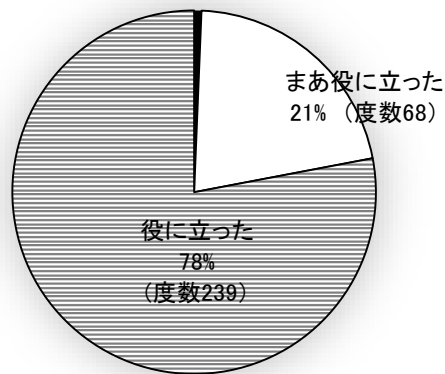


2017年度アジア経済研究所 図書館アンケート結果報告（外部利用者向け）

1. **目的**：アジ研図書館利用者の利用実態、要望及び満足度を把握し、今後の業務遂行及びサービス改善・向上に役立てる。
2. **実施期間**：2017年9月15日（金）～11月30日（木）
3. **実施方法**：図書館の外部利用者に対しアンケート用紙を配布し、退館時に回収。
4. **回収状況**：配布数 343通、回収数 316通、回収率 92.1%
（2016年度：配布数 365通、回収数 333通、回収率 91.2%）
5. **集計結果・総括**：

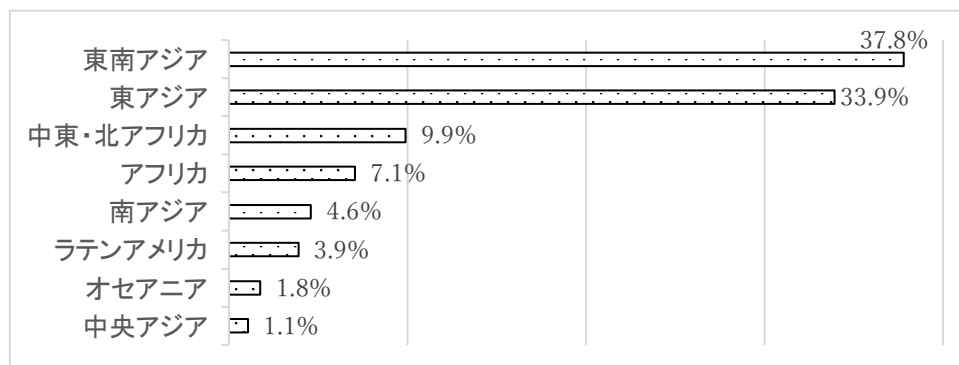
- (1) 総合役立ち度の上位2位の割合は99%であり、昨年同様高水準を維持した。
（回答数 307、役に立った 78%、まあ役に立った 22%）



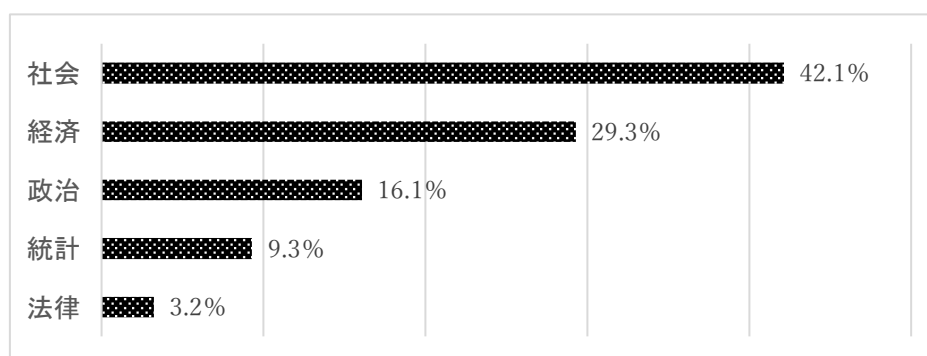
- (2) 職業内訳は「学生」が41%、「調査者・研究者」が16%を占めた。

学生	調査 研究従事者	サービス業	製造業	マスコミ	官公庁等 公的機関	自営業	その他 無職
41%	16%	10%	5%	0.3%	5%	2.2%	20%

(3) 利用者が最もよく利用した地域 (Q3) は、「東南アジア、東アジア、中東・北アフリカ、アフリカ、南アジア、ラテンアメリカ、オセアニア、中央アジア」の順に多かった¹



(4) 利用者が最も関心をもっているテーマ (Q4) は、「社会、経済、政治、統計、法律」の順に高かった。



(5) 利用者が最もよく利用した資料・サービス (Q5) は、「図書 (58.5%)、統計資料 (23.8%)、雑誌 (10.6%)、新聞 (5%)、電子資料 (1.1%)」の順に高かった。

(6) 各項目満足度は、サービス全般において高い満足度を得た。WEBサービスの満足度は2016年度を上回った。

●サービス全般	2017	2016
入館時の説明	99.0%	97.7%
カウンターでの対応全般	98.6%	98.7%
資料相談	93.9%	98.4%
複写サービス	92.6%	96.7%
●図書館のWEBサービスについて	2017	2016
ウェブサービスの情報の探しやすさ (レイアウト・情報へのたどりつきやすさ)	99.5%	93.9%
コンテンツの充実度	93.9%	95.5%
検索サービス (OPAC・World Wide Discovery) の使いやすさ	94.8%	91.9%

¹ Q3 地域、Q4 関心テーマ、Q5 資料・サービスに関する項目は昨年度までの複数回答方式から、単数回答方式へ改めた。

(7) 自由意見では、例年同様スタッフ対応の良さを挙げる利用者が非常に多い。主な記述は以下のとおり。

No.	ご意見	回答
開館時間 (9名)	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間をもう少し長くしてほしい。 ・土曜日を毎週開館してほしい。 ・ミーティングルームやプロジェクトルームといった共同で作業可能な部屋がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●諸般の事情により現状の開館状況となっておりますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。 ●アジ研図書館には、館内資料を持ち込んで自主学習をすることができる予約制の学習室(35名収容可能)があります。ご希望があれば、無料でプロジェクタやスクリーンをお貸しいたします。共同作業にお役立てください。詳細はホームページの利用案内でご確認いただけます。
検索方法 (2名)	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書を探すのがあまり容易でなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自身で資料が見つからない場合は、スタッフまでお問合せください。また、弊所ホームページでは、所蔵資料をはじめ、途上国関係資料・情報の探し方をご案内していますので併せてご参考ください。
スタッフ対応 サービス (11名)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧なご対応ありがとうございます。 ・マイクロフィルムからのコピー料金が親切で多く取れました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ありがとうございます。スタッフ一同、サービスの質の維持向上に努めます。
所蔵資料 (10名)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や統計のコレクションが戦前と戦後で利用でき研究に役立っている。 ・貴重な書架を開架で見られることにいつも満足している。 ・今後も質の高い資料収集を期待している。 ・中文新聞・雑誌等が非常に少なくなった。 ・海外(英文の雑誌の常備)が減少しているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご意見をありがとうございました。ご不便おかけし申し訳ございません。今後も、予算の範囲内でできる限り多くの利用者の方にご満足いただけるよう、資料を収集いたします。 ●中国の雑誌につきましては中国学術情報データベース CNKI-CAJでもご覧になれます。ぜひご活用ください。 ●海外の英文ジャーナルについては電子ジャーナルに切り替わっている場合があります。購読している電子ジャーナルについては研究所のウェブサイト>図書館>電子資料をご覧ください。購読している電子ジャーナルの記事検索は図書館 OPAC に併設している World Document Discovery でお願いたします。

以上